平成23年度　施策達成度評価シート（平成22年度実績評価）

施策の柱		施策	
コード	名称	コード	名称
7	快適な都市機能	73	快適な居住環境の実現

施策主管部	建設部	評価者（施策統括マネージャー）名	熊谷　優

１　施策の目的（目指す姿）

対象 （誰を，何を対象としているのか）	意図 （この施策により対象をどのように変えるのか）
市街地，その他の市域，市民・民間事業者，区画道路，利用者	快適な居住環境が確保される

２　達成度

（1）成果指標

指標名	単位	指標の性格	H21実績値	H22年度計画（年度目標値）	H22実績値	H23計画（年度目標値）	H26計画（最終目標値）
市民アンケート調査「快適な居住空間である」と答えた市民の割合	%	↗	46.00	51.80	46.00	51.80	55.00
市道舗装率	%	↗	81.70	83.40	81.70	83.80	85.00

（2）近隣自治体との成果水準比較

指標名	他自治体の状況等
市民アンケート調査「快適な居住空間である」と答えた市民の割合	比較データ無し
市道舗装率	青森市:65.31%　八戸市:76.23%　秋田市:88.84%

３　達成度評価結果

取組内容と成果，成果を得られた要因	・市道は市民の日常生活を支える上で重要な社会資本であるとの観点から，緊急性，重要性，地域性などを十分考慮しながら道路の維持管理に努めると共に各種事業を実施した。 ・舗装率については，実施した舗装整備延長と市道実延長の増減の関係で前年度と同数の81.7%となり，目標値である83.4%には達しなかったが，施策の方向性を鑑み継続して着実に整備していく必要がある。また，市民満足度は前年度と同数であったが，成果の目標値には達していないことから，今後も各種の事業実施に当たり市民ニーズを的確に反映させることが求められる。 ・個人の戸建て木造住宅の耐震化については，県の耐震支援事業に合わせて耐震診断75戸と耐震改修16戸を実施した。 ・開発許可件数及び開発面積については，それぞれ25件及び8.0haであった。
翌年度以降の課題，その要因	・近年，市民ニーズの多様化が顕著になっており，総合的に対応をしなければニーズに答えられない事態も生じておることから，市民からの要求・要望・提言等を的確に把握しながら，関係する部署との連携を図り，限られた予算の範囲内で，計画的，持続的に事業実施する必要がある。 ・安全，安心，快適な道路環境の確立するため，より市道の現場状況を適切に把握し長寿命化に向けた舗装打換え等の効率的な維持管理が重要であることから，継続的に適正な維持管理費の確保が必要となる。 ・木造住宅耐震支援事業は，平成27年度までの診断目標1,100戸で，平成18年度から22年度までの実績446戸となっており，近年は減少傾向にあったが，今回の東北地方太平洋沖地震により診断希望者の増加が見込まれることから，さらなる目標達成のために，引き続き高齢者等に対し申込書の訪問受領による応募が可能となるよう取り組む。 ・近年，開発可能地が限られてきており，開発許可件数や開発面積が減少している状況にあり，良好な住宅地の誘導のため市街化区域における未利用地や農地を宅地化していく観点からの許可基準の見直しを平成21年度に見直しており，併せて違反対策及び危険宅地対策等に取り組んでいく必要がある。

平成23年度　施策達成度評価シート（平成22度実績評価・基本事業の状況）

施策の柱		施策	
コード	名称	コード	名称
7	快適な都市機能	73	快適な居住環境の実現

基本事業	
コード	名称
731	生活道路環境の向上

施策主管部	建設部	評価者（施策統括マネージャー）名	熊谷　優

市街地，その他の市域，市民・民間事業者，区画道 快適な居住環境が確保される

1　基本事業の目的（目指す姿）

対象 （誰を，何を対象としているのか）	意図 （この施策により対象をどのように変えるのか）
区画道路，利用者	道路環境の向上が図られる

市民アンケート調査「快適な居住空間である」と答えた市民の割合

指標名	単位	指標の性格	H21実績値	H22年度計画 （年度目標値）	H22実績値	H23計画 （年度目標値）	H26計画 （最終目標値）
市道改良率	%	↗	73.00	73.40	73.30	73.60	74.30
市道除雪率	%	↗	68.20	70.00	69.10	70.00	72.00

平成23年度　施策達成度評価シート（平成22度実績評価・基本事業の状況）

施策の柱		施策	
コード	名称	コード	名称
7	快適な都市機能	73	快適な居住環境の実現

基本事業	
コード	名称
732	良好な住宅地の誘導

施策主管部	建設部	評価者（施策統括マネージャー）名	熊谷　優

市街地，その他の市域，市民・民間事業者，区画道 快適な居住環境が確保される

1　基本事業の目的（目指す姿）

対象 （誰を，何を対象としているのか）	意図 （この施策により対象をどのように変えるのか）
市街地，その他の市域，市民・民間事業者	・快適な住宅地が形成されている ・建築物が適正化されている

市民アンケート調査「快適な居住空間である」と答えた市民の割合

指標名	単位	指標の性格	H21実績値	H22年度計画 （年度目標値）	H22実績値	H23計画 （年度目標値）	H26計画 （最終目標値）
市街化区域内における未利用地面積	ha	↘	205.60	192.70	197.60	187.60	141.10